

平成 25 年度研修終了半年後アンケート 「研修後の変化など」 主な回答

研修名	主な感想
園長研修	危機管理については園内研修で職員に周知し職員の危機管理に対する意識の向上に役立ちました。また、園長として部下の指導について意識が高まり人事評価にも生かすことができました。
	職員の健康・環境への意識が高まった。園内研修が充実するよう心がけている。
	職員に話しかけること、悩みなど話しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。
	危機管理においてはマニュアル作りをして職員に周知した。
	自由保育について職員間で話し合った。
	研修を受け園長の責務を強く感じ、自分自身が何からできるかを考えてみました。しかし日々の業務に追われ少し気弱にもなっている自分を思い反省しています。
	職員でリラックスした雰囲気で話し合う機会を月 1 回設けている。
	自園の足りない部分、乏しい面に気付くことができた。早速少しでも補足できるよう取り組んでいる（危機管理マニュアルの作成、事例からの職員間の話し合い、自己評価、園評価の実施、職員会議の定例化など）
主任研修	保育士の資質向上と園全体の保育力アップを目指して研修で勉強した「エピソード記録」を園内研修のテーマとして実践している。
	自信はありませんが、保育職の楽しさ充実感を味わうことができています。
	保護者支援では保育園がお母さんたちを支援応援している事を実感していただけるように意識して声かけをするようになった。園何研修では、他の保育士が受け身ではなく少しでも多く発言できるよう工夫して行おうと考え取り組んでいる。
	紹介された本などを読み、自分のスキルアップに努めるようにしている。
	子育て広場の内容などについて、情報をいただき実際に行っています。

	<p>保育の歴史や細かい内容まで学べたことにより、他の保育士にも自信を持って発信できるようになりました。</p> <p>主任保育士として役割が明確になり、次の世代（後輩）を育てられるような指導方法、研修会の持ち方などを考えられるようになった。</p> <p>職員が意見を出しやすいよう主査保育士と相談して話し合いを進めたりしながら職場内の雰囲気を作っていくようにしている</p> <p>子どもの表面に見える所ではなく内面を理解したり、言葉の裏に隠されている部分をより知ろうとするようになりました。</p>
中堅前期研修	<p>保育職の魅力について、グループで話し合い、発表をした事が印象的で、魅力を再確認できました。また、そういった話をする中で、子ども達への想いがより深まりました</p> <p>研修を通し保育という仕事がとても魅力的という事を実感でき、仕事をする中でどうしたら楽しめるだろう、喜べるだろうということをもっと深く考えるようになった。</p> <p>保護者との関わり方の悩みを他の市町村の保育士と共有することで学ぶ事ができ、実際に対応することができた。</p> <p>中堅前期としての立場に対して不安を感じる事があったが、研修を受け、自分のやれるべきことをやろう、学んだことを活かそうと思えるようになり、意欲的に取り組めるようになってきたと思う。</p> <p>自分が考えている事、課題も明確になり、子どもたちへの関わりも変わってきたように思う。</p> <p>中堅前期保育士として今まで経験してきたことを自分の保育でいかしたり、後輩へ伝えていくこと、そしてこれからも実践とつなげながら理論を学ぶ事の大切さを感じました。また、保育職の魅力を再確認し日々子どもに関わる中で楽しさややりがいを感じながら、保育に取り組むことができます。</p> <p>研修を受けて改めて”保育の仕事って素敵だな”と思うことができ、園に帰って子どもと関わる事が更に楽しくなり、保護者の方とも相手の立場に立ちながら話をできるようになった</p> <p>他保育士に指導するにあたって説明の仕方などを工夫したり意識したりしている。</p>
中堅後期研修	<p>保育士同士声を掛け合ったり、実習生には保育士の仕事に魅力を持ってもらえるようにしている。</p> <p>経験値等を生かして、新任や若い保育士に対してアドバイスを</p>

	<p>していきたいと思っています。また、発達理解を改めて行えたことが指導計画や保育の実践に生かしています。</p>
	<p>他市町村で行われている事を聞いたことで、普段の保育を見直し、子どもへの”最善の利益”を考え直したり、活動一つ一つを深く考えられるようになった。</p>
	<p>後輩に対して、どう対応したら良いか困っていたが、気持ちを受け止めてあげることが出来るようになった。</p>
	<p>一日保育をする中で1回は誉めるようにし、子どもの良いところを見つけより良い信頼関係が築いていけることを教えていただいたので実践している。また子どもを良く見る＝観察することで今までより書類を書く時間が早くなり、より一人ひとりの発達に応じて保育計画が立てられるようになった。</p>
	<p>保育における子どもとの関わり、保育者との関係作り、職員間での問題提議、解決への検討に進んで取り組むよう意識し行動するようになった。また自分の職務に責任と自信を持ち、やりがいを感じられるようになった。</p>
	<p>研修で明確になった課題(職員間の連携・意識など)にも自身が意識して取り組むようにしている。</p>
	<p>保護者から相談を受けた時の受け答え方をより考えるようになった。</p>
<p>育児休業明け研修</p>	<p>研修を受けるまでは時間を有効に使えてなかったと感じ、効率的に仕事をすることによって家庭や子どもに目がむけられるようになった。</p>
	<p>わが子への関わり方というより、家事などへのやり方、抜け落ちているところなどに対しての罪悪感が減り、自分自身の気持ちの変化がありました。食材宅配などを利用してみたり、やれていない自分も別にいいんだと少し許せるようになりました。</p>
	<p>ワークライフバランスを常に考えて仕事に取り組めるようになった。職場や家族等、周りの人に助けをもらいながら仕事が出来ている事に感謝する気持ちを強く持つようになった。</p>
	<p>家族が助けてくれる面が多く、仕事があるからと甘えていた事を実感し、感謝の気持ちを改めて感じた。と共に、わが子との時間をより、有効に大切にしたいと感じるようになった。</p>
	<p>園の子ども達の発達が見通せるようになり、子どものありのままを受け止め、ゆったりとした気持ちでかかわれるようになった</p>
	<p>家事の手抜きをしたり、周りに助けをもらっていることに罪悪</p>

	<p>感があったが、同じようなやり方で仕事を続けている人が多くて、じぶんだけじゃないと分かり気持ちが楽になった。</p> <p>自分を責めていた気持ちが楽になった。</p> <p>育児をしながら働いている保育士が働きやすい環境を作るため、現実には上司や周りの職員の理解と協力が不可欠である。離職防止や職場を良くするには周りの意識改善も必要だと思う。</p>
障害児研修	<p>担当児の行動に対して様々な角度から見ようとするようになり支援の方法の幅が広がった。</p> <p>保護者とその子についての話（保育以外の事でも）をなるべくできるようにし、母親の話を良く聞くことを心がけている。</p> <p>研修を受けるまで、対象児に対して迷いながら関わっていたが、自分の対象児に対する関わりが明らかになり、自信を持って関われるようになった。</p> <p>子どものためにという思いが強く、保護者の気持ちを考えていなかったことに気付いたので保護者を受け止めようと思えるようになった。</p> <p>障がい児の特徴や関わり方について迷ったり、悩んだりした時に再確認して、一緒に療育している保育士に伝え、共通理解している。</p> <p>改めて自分なりに担当児と向かい合ってみることが出来るようになった。どうしてこのような対応を取ったのか、子どもの行動の背景や心境についてよく考えるようになった。</p> <p>保護者の障がい受容についての話から、受け入れても心が揺れ動くことなどを学び、保護者と話をするときなど、親の思いを自分なりに色々と考え受け止めるようになった。</p> <p>講義を聴くことができ、帰ってからも違う見方で捉えてみたり関わってみたりすることができた。研修に参加したことで、関わってみたいという気持ちや、受け持っている子どもたちにとってなにが最善なのか考えて指導していかななくてはならないという思いが膨らんだ。</p>
乳児研修	<p>他市町村との交流が持てたことで、知らなかった環境づくり、保育援助の方法、手遊びなどを学ぶ事が出来たので、出来るだけ生かすようにしている。</p> <p>保護者対応は、保護者に求めるだけでなく、子どもにとってより良い方法を一緒に考えたり、子どもの良いところを話したり</p>

	<p>しながら、共に協力していける関係作りが大切だと学んだ。保護者とのコミュニケーションをしっかりと取るよう心がけている</p>
	<p>乳児保育について知識不足、経験不足という面で不安を感じるが多かったが、研修を受け子どもたちに一番必要な事を日々頭の中に思い浮かべたり、保育士間で想いを伝え合う事が増えてきた。</p>
	<p>保護者へもう少し積極的に話しかけ、自分の意見を伝えるだけでなく、まずは耳を傾けるよう心掛けた。そうすることで、保護者の方も自分の話を聞いてくれたという安心感から信頼感が生まれ、色々な話をしてくれるようになったと感じた。</p>
	<p>乳児保育についてしっかり学ぶ事ができ、いままでよりも一人ひとりにあった言葉かけや援を考慮されるようになった。また保護者の方と一緒に子どもを育てているという気持ちで保育できるようになった。</p>
	<p>乳児保育の大切さを学んだり再確認することができた。子供の成長を目の前で見ることができるのは幸せなことだと改めて感じた。研修で学んだことを日々の生活に追われてしまい、薄れてしまうところもあるのでそう思ったときにこそ意識をもっていかなければいけないと思いました。</p>
	<p>研修で明確になった課題を、職員間で話し合い、そのように自分たちの保育の中に取り入れていけば良いか考え、実践していくことができた。</p>
	<p>保護者との信頼関係を築いて行くために送迎時にはコミュニケーションをとり、保育園での子どもの良い姿を伝えたり、保護者の話に耳を傾けたりしている。その際、研修を通して学んだ子供や保護者が自己肯定感を持てるような言葉をかけている。</p>

